

最近の政治的緊張の高まりを受けた緊急事態に対する備えについて

【ポイント】

日頃から、急に困難な状況に置かれる事態を想定して、生活及び安全面の対策を検討し、あらかじめ備えるようにしてください。

【本文】

1 4日、ジュバ市ビルパム（Bilpam）に所在する軍司令部において、南スーダン人民解放運動反政権派（SPLM-IO）に属し、南スーダン人民解放軍（SSPDF）副司令官も務める Gabriel Duop Lam（ガブリエル・デュオップ・ラム）中将他同派幹部4人が、SSPDFにより逮捕されたとの報道があり、SPLM-IO側が即時の釈放を求める声明を発表しています。

2 その際に、ジュバ市内に所在するリアク・マシャール第一副大統領公邸周辺にも SSPDF 兵士が配備され、近隣道路が封鎖されていたとの情報もありました。同じく SPLM-IO 所属の石油大臣も拘束されたとの報道も出ており、情勢が不透明な状況が続くことが予想されます。

3 現在、上ナイル州ナシル（Nasir）他における、SSPDF と SPLM-IO と関係するとされる武装若者グループ（ホワイト・アーミー）との間で発生している衝突を機に緊張が高まっていました。

4 5日現在、ジュバ市内において、道路交通状況は通常どおりで、市民は通常の生活を営みスーパー等も通常営業を行っていますが、上記状況に鑑み、今後、さらに緊張が高まることも予想されることから、以下を参考にあらかじめ緊急事態を想定し、安全面の対策を検討し、不測の事態に備えるようにしてください。

（1）職場等において、緊急事態発生時の行動計画を事前に検討し決めておく。

（2）最新の治安情勢をアプリ、ニュース（インターネット、テレビ等）、新聞を通じて入手する。

（3）治安情勢については、友人・同僚の南スーダン人から入手することも有益。

（4）ただし、フェイクニュースなどのおそれもあるので、信頼できる情報源とクロスチェックするなど、正確な情報の入手に努める。

（5）懐中電灯、充電式ランプ、電池、モバイル充電器等を用意しておく。

（6）長期保存可能な食品（調理不要なものを含む）、飲料水、日用品を備蓄する。生活用水のため置きをする。

- (7) 常備薬、処方薬をやや多めに備えておく。近隣の医療機関の場所を確認しておく。
- (8) 車に給油を行い、発電機用軽油（ディーゼル）等を用意する。
- (9) 現金、旅券等貴重品をすぐに持ち出せるよう整えておく。
- (10) 大切な連絡先等を紙媒体でも記録・携帯しておく。
- (11) 発電機能を備え、安全が確保できそうな場所を事前に調査しておく。

なお、外務省は、南スーダンの危険情報を首都ジュバについては「レベル3：渡航は止めてください。(渡航中止勧告)」、その他の地域については「レベル4：退避してください。渡航は止めてください。(退避勧告)」を発出しています。

以上